

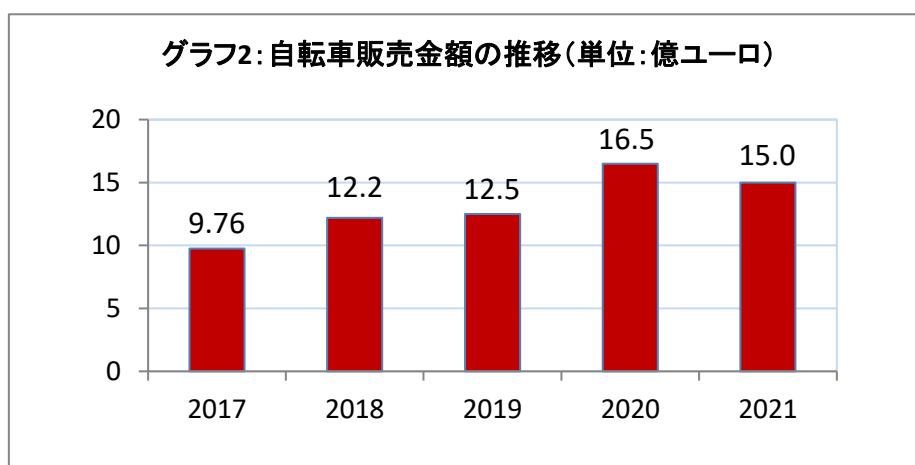
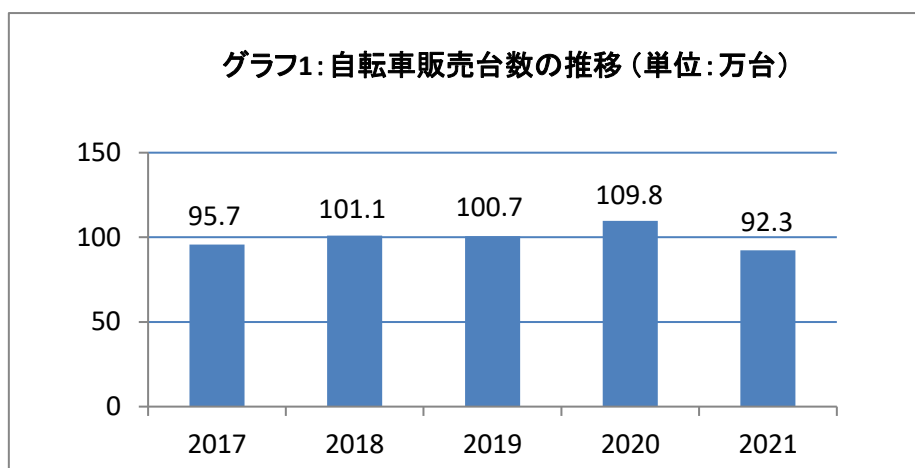
## オランダ自転車市況-2021

### 1. 販売動向

RAI Vereniging(オランダ車両工業会、以下 RAI)、BOVAG(オランダ自動車自転車商業組合)によると、オランダの自転車販売台数は、2021 年は前年比 15.9%減の 92.3 万台となり、1.5 割強減少した。また、2021 年の自転車販売金額は、前年比 8.7%減の 15 億 243 万ユーロ(2,013 億 2,682 万円「換算レート 1 ユーロ=134 円」以下同じ)と 1 割弱減少している。

RAI は「2021 年のオランダ自転車販売は慢性的な品薄状態と世界的なコロナ危機の影響を受け、対前年比 16%近くも減少し 92.3 万台となったが、販売高は 15 億ユーロに達した。これは過去 2 番目に高いレベルで 10 年前と比較すると 2 倍の値であり、市場全体の 52%を占める電動アシスト自転車(EPAC)の人気によるものである」としている。

また「2021 年の EPAC 販売台数は前年比 12.5%減の 47.8 万台となったが、市場全体に占



める販売額の割合は前年の 49.8%から 51.8%に拡大しており、販売額の実に 3/4 以上(76%)が EPAC で占められている」と EPAC は台数ベースで減少しながらも金額面での好調を強調している。

2021 年の自転車平均販売価格は、EPAC 販売好調により自転車販売業全体では前年比 8.5% 高の 1,627 ユーロ (218,018 円) に上昇した。従来から高額商品の取り扱いが多い自転車小売専門店は、前年比 12.2% 高の 1,737 ユーロ (232,758 円) となり、1,700 ユーロ (227,800 円) を超える額に達した。

表 1: 平均販売価格の推移 (単位: ユーロ)

	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年
平均価格(全体)	1,020	1,207	1,243	1,499	1,627
平均価格(自転車小売専門店)	1,086	1,222	1,323	1,548	1,737

## 2. 業態別、価格帯別販売動向

2021 年の業態別売上台数比率は「自転車小売専門店」、「量販店、スーパーなど」とともに前年並みの割合となっており、自転車小売専門店の比率はここ数年 7 割を維持している。

RAI は「EPAC は自転車専門店での売り上げは 5.8% 減少したが、平均販売価格は 2,500 ユーロ (335,000 円) 以上に上がった。インターネット販売では、台数ベースで 13% 以上増加し 51,000 台となり、平均販売価格は前年同様 2,077 ユーロ (278,318 円) となった」としている。

表 2: 業態別売上台数比率の推移

販売形態	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年
自転車小売専門店	79%	74%	73%	71%	71%
量販店、スーパーなど	21%	26%	27%	29%	29%

2021 年の価格帯別売上台数比率は、300 ユーロ (40,200 円) 以下の最低価格帯は前年より 1 ポイント減の 9% となった。それに次ぐ低価格帯 301~499 ユーロ (40,334~66,866 円) は前年より 2 ポイント減の 7% となった。更に中価格帯の 500~699 ユーロ (67,000~93,666 円) も 1 ポイント減の 13% となり、低・中価格帯の比率は全体的に縮小傾向にある。一方、高価格帯 700~899 ユーロ (93,800~120,466 円) は前年より 1 ポイント減の 11% となったが、最高価格帯 900 ユーロ (120,600 円) 以上は 5 ポイント増の 60% と前年より更に比率を上げ全体の 6 割となっている。

表 3: 価格帯別売上比率の推移

価格帯(EURO)	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
300以下	11%	12%	9%	10%	9%
301~499	19%	14%	11%	9%	7%
500~699	21%	19%	17%	14%	13%
700~899	13%	13%	13%	12%	11%
900以上	36%	42%	49%	55%	60%

### 3. 車種別販売動向

2021年の車種別売上台数比率は、シティ車(ダッチバイク)を含む一般用自転車は前年より1ポイント減の25%となった。ハイブリッド車(クロスバイク等)は前年と同率、子供車は前年より1ポイント減少している。一方、年々比率が上昇しているEPACは前年より2ポイント増の52%と更に増加を続け、過半数の比率となった。

なお、2019年まで「その他」に含まれていたMTBやロードレーサー等が2020年は「その他」から分割表示されるようになり、2021年はMTB/ATBが1ポイント増の6%となっている。

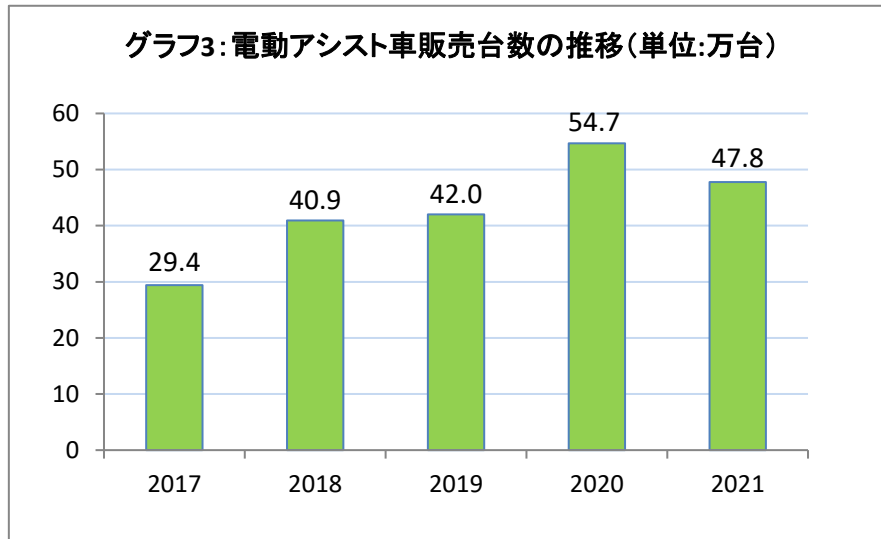
表 4: 車種別売上比率の推移

車種	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
一般用自転車	42%	34%	33%	26%	25%
ハイブリッド車	5%	4%	4%	3%	3%
子供車	12%	11%	11%	10%	9%
電動アシスト自転車	31%	40%	42%	50%	52%
MTB/ATB	-	-	-	5%	6%
スポーツハイブリッド/ロードレーサー	-	-	-	4%	4%
その他 ※	10%	11%	10%	1%	1%

※2019年までの「その他」にはMTB/ATB、ロードレーサー及び折りたたみ車が含まれる。

※2020年以降の「その他」には折りたたみ車等が含まれる。

EPACの販売台数は2018年が前年比39.1%増の42万台、コロナ危機の2020年が前年比30.2%増の54.7万台と大幅な増加となった一方、2021年は前年比12.6%減の47.8万台に減少している。



RAI は「2021 年は車種別売上比率で EPAC が初めて普通自転車を上回る 52%になったと同時に、台数ベースでは 54 万台と記録的な年となった 2020 年と比較して、その高いレベルを維持できなかったという 2 つの側面を持つ年になった」としている。特に、販売台数で 2020 年レベルを維持できなかったことについて、RAI は「消費者には購買意欲はあるものの、コロナ危機の長期化に伴い、自転車そのものの入手が困難であった」ためとした。

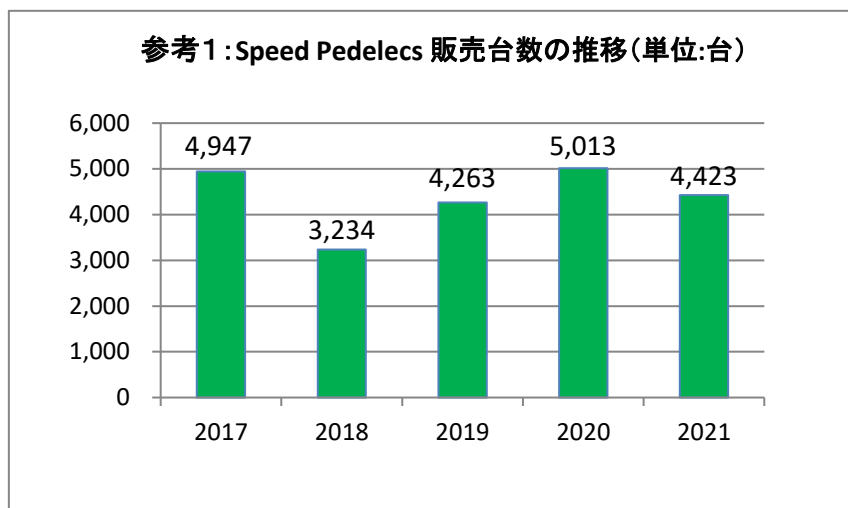
また「2020 年のコロナパンデミックは、オランダ国内外で自転車需要の高まりを引き起こしたことは明らかとなったが、その一方、需要の高まりに供給が追いつかず、世界的な商品遅延をもたらすこととなり、業界の対応はサプライチェーンにかなりの混乱を引き起こした。この供給問題は 2021 年だけにとどまらず、2022 年も引き続き業界に影響を及ぼすであろう」と危機感を抱いている。

#### 4. Speed Pedelecs

モーター出力 250W まで、ペダル補助は速度 25km/h までと定められている EPAC よりもモーター出力と補助速度が高い Speed Pedelecs について、RAI は今回最大速度 35km/h までの販売台数をブランド別に 2012 年から 2021 年まで公表した。同車種の販売台数は 2018 年に前年比 34.6%減と落ち込んだ後、2019 年に前年比 31.8%増、2020 年は前年比 17.5%増と復調した後、2021 年は 11.7%減となっている。2021 年の Speed Pedelecs の販売上位ブランドは、スイスのストーマーが 1 位で、2 位はドイツのリーゼ&ミュラー、次いで地元ブランドのガゼレと続く。

RAI は「2020 年に Speed Pedelecs の販売は約 20%の成長をみたが、2021 年には 4,423 台と前年の 1 割減になったことから成長は継続しない」とみる一方、2021 年の販売台数が直近 5 年間の平均販売台数 (4,376 台) とほぼ等しいことから「Speed Pedelecs 市場の継続的な安定は見込められる」とし、ブランドでは「ストーマーは 1,400 台で 32%の市場シェア

を誇っている。リーゼ&ミュラーは704台(同16%)、ガゼレも496台(同11%)と健闘している」とブランドリーダーに期待を寄せている。



**参考2: Speed Pedelecs 販売上位5ブランドの推移 (単位:台)**

	2017年		2018年		2019年	
1	ストーマー	1,864	ストーマー	973	ストーマー	1,727
2	リーゼ&ミュラー	792	リーゼ&ミュラー	535	リーゼ&ミュラー	575
3	スパルタ	520	DUTCH ID	251	ガゼレ	380
4	ガゼレ	469	ガゼレ	205	ラドパワーバイク	205
5	DUTCH ID	130	ラドパワーバイク	153	QWIC	175

	2020年		2021年	
1	ストーマー	1,850	ストーマー	1,400
2	ガゼレ	698	リーゼ&ミュラー	704
3	リーゼ&ミュラー	680	ガゼレ	496
4	アクセルネダランド	293	QWIC	252
5	QWIC	244	クレバー	209

以上

統計出所: RAI Vereniging /BOVAG